

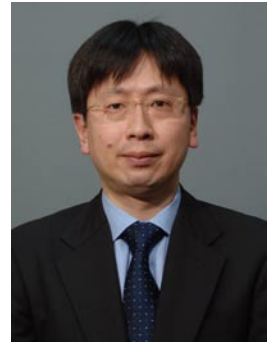
Blackboard@Tamagawa 活用事例

01 農学部生物資源学科助教授： 肥塚 信也 先生

新任 1 年目、Blackboard 活用体験報告記

肥塚先生は本学就任前の 2 月、新任研修会終了後すぐに Blackboard 講習参加したい旨のお申し込みを受け、就任 1 年目から Blackboard を活用しておられます。肥塚先生が提供された授業コンテンツは学生から好評でした。今後もさらに Blackboard の展開されようとしておられます。

今回は、ご就任 1 年目、Blackboard を活用した取り組みを中心にアメリカで目にされ、Blackboard 活用事例の体験をもとに、「どのように活用されたか」、「今後どのような発展を描かれておられるか」について、具体的に報告していただきます。



Blackboard との出会い

私は本学に着任前は、米国のある州立大学の研究者でした。そのおり、ラボの実験助手の学生や修士・博士課程の大学院生達が授業前後や定期テスト前に Blackboard 上（以下、Bb と略します）に掲載された講義のスライドや録画映像を、ラボにあるコンピューターで実験の空き時間に閲覧・学習するという姿をよく見かけ、「何時でも何処でも」という学習スタイルを間近にしました。そして新任研修会の際、本学でも Bb を導入していることを知り、自分の担当する講義等のサポートにぜひ活用したいと考えました。ここでは、私が昨年度 Bb をどのように活用し、それに対する学生達の反応はどうか、また、反省点は何かを紹介していきます。

講義での Blackboard の活用

◆ 科目名：分子生物学

生物資源学科 2 年生

◆ 授業の概要：発展科目群

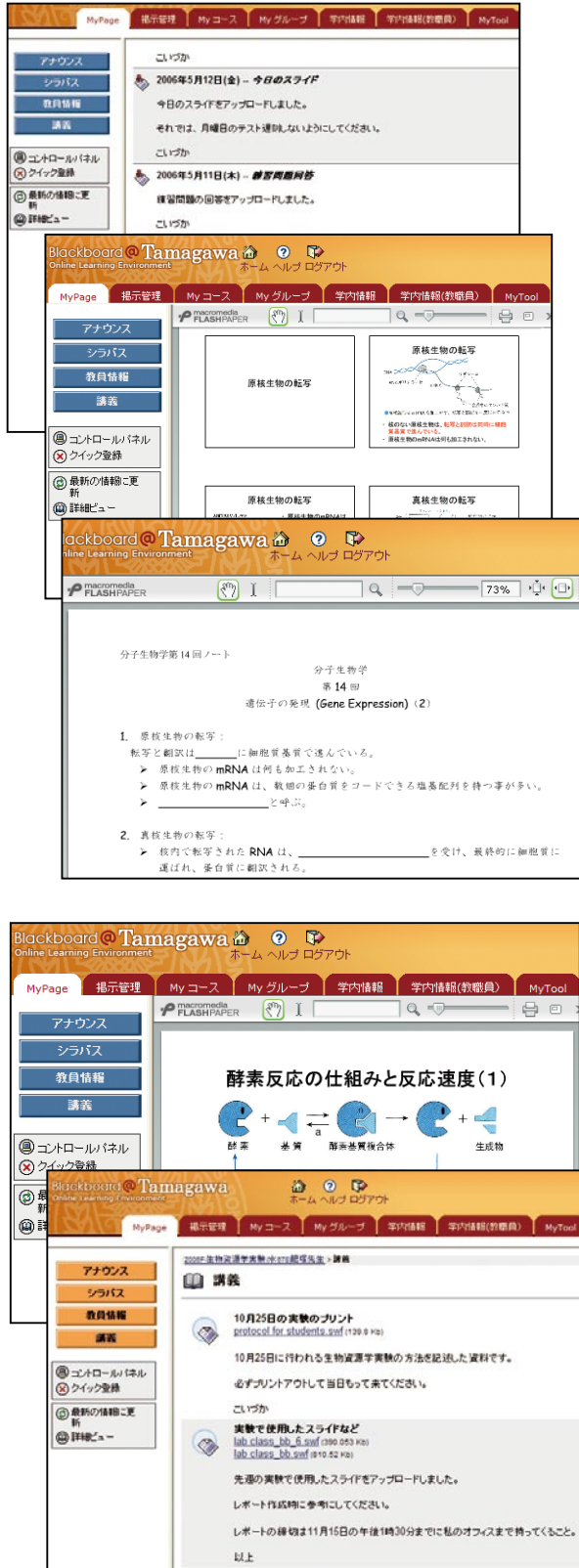
遺伝子とタンパク質の構造と機能を学ぶことにより、生命現象を分子・細胞レベルで理解することが本科目の目的です。これらの内容は肉眼で直接観察・分析する事が非常に難しいものです。従って、わかりやすい教科書の記述、図表やアニメーションなどの補助資料の利用が効果的だと考えました。

①講義前日までにアナウンスエリアに、授業の範囲を掲示。

②授業では、スライドによる講義と Web 上のアニメーションの紹介を中心に進めました。また、内容に関する穴埋めシートを配布し授業への参加を促しました。さらに、授業へのコメントを出席カード上に記述してもらうことにより、次回の授業へのヒントとしました。

③終了後、使用した全ての資料、補足事項、Web 情報を掲載しました。特に難解と思われ

た講義回へのアクセス頻度は高い傾向であり、学生の学習努力の現われであると推察しています。こうした事からも授業をより客観的に進める上で Bb の利用が有用である事を感じています。



Bb コース内コンテンツ内容

演習での Blackboard の活用

◆ 科目名：生物資源演習 I

生物資源学科 3 年生

◆ 授業の概要：専攻科目群

卒業研究時に必要な英文文献の読解力の養成のために、課題とした英文文献を輪読します。本演習が農学部生にとって恐らく初めての科学英語との出会いではないかと思えます。

①文献理解のヒントとなる図表をまとめたスライドを掲載。

②ネイティブスピーカーが文献を朗読した音声ファイルも活用しました。正しい発音や音読時の区切り場所が、内容理解の際有用な事を伝えたいと考えたからです。この際、高校英語科 Paul McBride 先生が音読に快く協力して下さいました。この二つの補助資料を基に輪読を進め要点や日本語と英語の科学文献の表現上の共通点と相違点も紹介できました。特に、掲載した音声ファイルは授業以外の時間でも聴くことができるので、学生の反応もよくこれは Bb 利用の長所の一つと感じています。

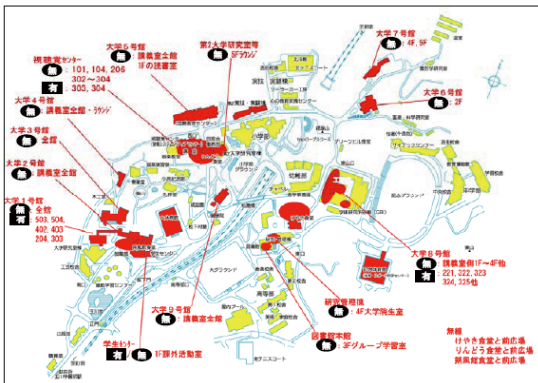
反省と今後に向けて

教員にとっての Bb の最大の特徴も、「何時でも何処でも」です。端末さえあれば、資料を「何時でも何処でも」掲載できます。しかし、この特徴を如何に活用するか？これが最も悩んだところでした。昨年度は、復習のサポートを重視する点から直後の資料掲載が中心でした。しかし、講義前の掲載のメリットや学生からの要望もあり、今後も常に重要な考察項目です。また、ディスカッション・成績管理など他の Bb 機能も利用したいと考えています。最後になりましたが、メディア教育推進室にはいつも心強いサポートや提案を頂きました。この場をお借りして感謝の意を表します。

2007年度のITサポートデスク

【MyPCネットワークの利用範囲が拡大になります】

MyPC ネットワークとは、玉川大学の学生・教職員が持ち込み PC で利用できるネットワークのことです。MyPC ネットワークに接続すれば、ノート PC で学内の各種 IT 環境やインターネットを利用することができます。MyPC ネットワークは主要校舎の講義室やラウンジ、または学内食堂等に情報コンセント（有線 LAN）や無線 LAN アクセスポイントとして用意されています。2007 年度 4 月よりアクセスポイントが更に増加し、より便利にご利用いただけるようになります。



MyPC ネットワーク提供場所

< 使用手順 >

- ① 有線または無線を用いて MyPC ネットワークに接続します。
- ② Web ブラウザで、
<http://dhcp.tamagawa.ac.jp>
(MyPC ネットワーク認証ページ) にアクセスし、自分のアカウント（ユーザ名とパスワード）を入力し、[認証する] ボタンをクリックします。

※ MyPC ネットワークを利用するには、教職員メールアドレスを取得している必要が有ります。学生は、学生 Web メールアカウントを利用します。

【ITサポートデスクの場所が変更になります】

2007 年 4 月より、全学部対象 MyPC サポートおよび IT 利用に関する窓口を集約化します。これに伴い、週 3 日であった MyPC サポート・修理受付を週 5 日開設（平常授業期間）します。また、問い合わせ窓口の一本化によりユーザ利用の利便性と支援体制を強化します。

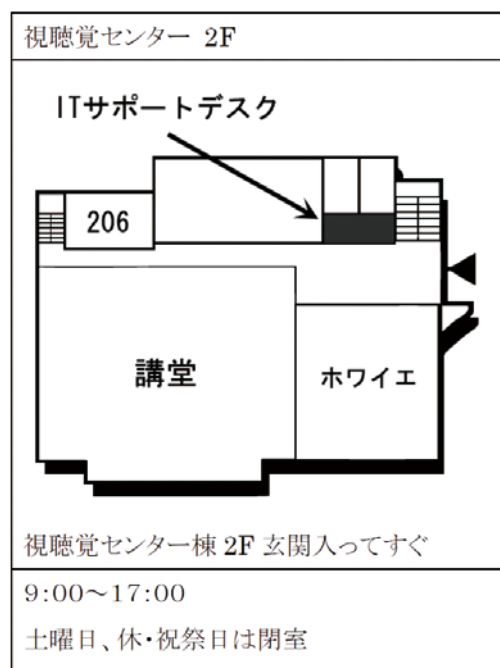
< IT サポートデスクで取り扱うこと >

教 員：

- ・ Blackboard@Tamagawa に関する問い合わせ
- ・ 研究・教材作成用 PC に関するサポート
- ・ 教材作成支援
- ・ 学内 LAN 利用アカウント申請・発行
- ・ ロックしたパスワード解除
(メール、MyPC 接続認証)

学 生：

- ・ Blackboard@Tamagawa
- ・ アカウント交付、再交付
- ・ IT 活用のための各種講習会 (MyPC ネットワーク講習会など)
- ・ MyPC (全学部対象) 修理受付
- ・ プリント上限枚数変更受付 など



教材の再利用

Bb に用意された機能を使い教材の再活用ができます。複数コースでの教材の共有、次学期授業での再利用に有効です。また、今後使用するときのためにコースごとのバックアップを保管しておくことができます。

用途、目的に合わせてご利用ください。

機能	再活用できるもの				
	項目・フォルダ	課題	アセスメント	掲示板	デジタルトロッポボックス
コース間コンテンツのコピー	○	○	×	×	×
テストのエクスポート・インポート	×	×	○	×	×
コースのアーカイブ	○	○	○	○	○

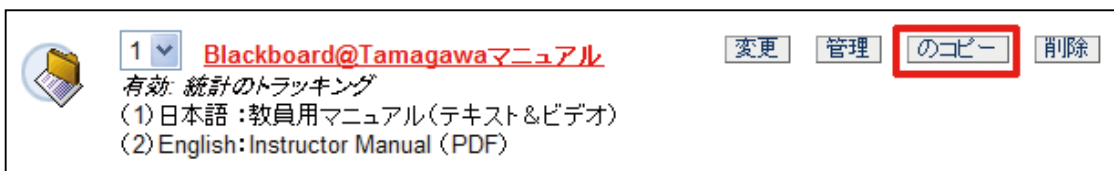
注：個人の投稿した内容（課題、スレッド内容など）は、投稿した学生が卒業しアカウントを失うと、復元することはできません。

■コース間コンテンツのコピー・移動

教材コンテンツ（項目とフォルダ）は別のコースにコピーしたり移動することができます。表示、非表示の設定はそのままとなりますので注意が必要です。

教材コンテンツのコピーと移動の方法

1. コントロールパネルから、「講義」などのコンテンツ領域を選択します。
2. コピーまたは移動する項目、フォルダの右横「のコピー」ボタンをクリックし、「コピー、移動」画面を表示します。



- (1) コピー先コースの選択をします。
- (2) コピー先フォルダの選択をします。
- (3) コピーまたは移動の選択をします。

コピーの場合は「いいえ」を、移動の場合は「はい」を選択します。

The screenshot shows the 'Copy/Move' dialog box. It has three main sections:

- コピー先 コース**: A dropdown menu showing '2006V-教員向け教材掲載・マニュアルコース' selected. This field is highlighted with a red box.
- コピー先のフォルダ**: A text input field containing '掲載例' and a '参照...' button. This field is highlighted with a red box.
- コピー後に項目を削除する**: Two radio buttons, 'はい' (Yes) and 'いいえ' (No). The 'いいえ' button is selected and highlighted with a red box.

 To the right, a preview window shows the selected course structure with '掲載例' selected.

インストラクター、ティーチングアシスタント権限でのみ利用可能です。学生は教材のコース間コピーはできません。

■テスト（アセスメント）再利用

テスト（アセスメント）はエクスポート・インポート機能を使い、別のコースで再利用することができます。必ずローカルコンピュータにエクスポートしてください。問題のコピーのみで、成績表はコピーされません。

<テストのコピー方法>

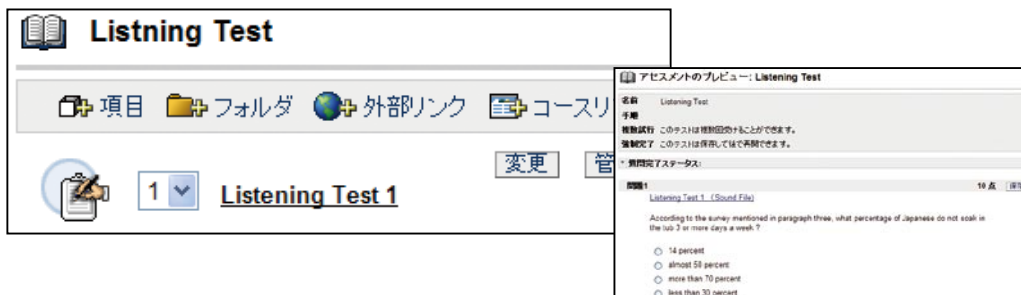
1. コントロールパネル - テストマネージャから、コピーするテストをローカルコンピュータにエクスポートします。



2. その後、掲載するコースのコントロールパネル - テストマネージャ - インポートで、エクスポートしたテストを取り込むことができます。



3. インポートしたテストを任意の場所に掲載します。



■コースのアーカイブ

コースごとに圧縮した1ファイルとして保存し、今後使用するために保管しておくことができます。

<アーカイブの方法>

1. コントロールパネル - コースのアーカイブで圧縮ファイルを作成します。



2. 圧縮ファイルができると、アーカイブ画面にファイル名が表示されます。



注：・アーカイブには多少時間がかかります。アーカイブ処理が終了すると e メールが届きますので、その後、保存を行ってください。

- ・保存後は B b コース上の圧縮ファイルは削除してください。
- ・アーカイブの復元はシステム管理者が行います。その時には、メディア教育推進室までご連絡ください。
- ・掲載コンテンツの容量が大きいとアーカイブできない場合があります。

Microsoft Office2007 発売に伴う保存ファイル形式の変更にあたって

2007 年度学生 MyPC より、WindowsVista、Office2007 が標準搭載となります。そのため、今後は、Office 形式のデータの互換性が問題となることが予想されます。

今回は、Office2007 を利用している学生のお旧 Office 形式 (97-2003) での保存方法についてと、Office 互換機能パックのインストールについてご説明させていただきます。

学生への指示にもご利用になれるように、今回の内容に関しては、Blackboard@Tamagawa の MyPage からアクセスすることが可能です。



Blackboard@tamagawa にアクセスし、ヘルプボタンをクリックします。

(1)

Office

(2)

Plug-in

Blackboard







(1) 「Office」

- ・保存形式を指定して保存

(2) 「Plug-in」

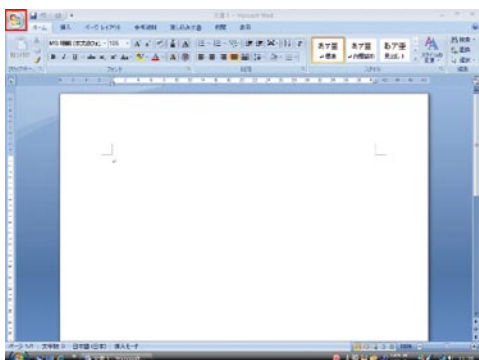
- ・互換機能パックのインストール

今回の Office2007 へのバージョンアップでは、ドキュメントの保存形式の拡張・変更が行われました。それにともない拡張子に変更となりました。

	旧 Office 形式 (97-2003)	新 Office 形式 (2007)
Word .doc → .docx		
Excel .xls → .xlsx		
PowerPoint .ppt → .pptx		

1. 旧 Office 形式 (97-2003) での保存方法 [Office2007]

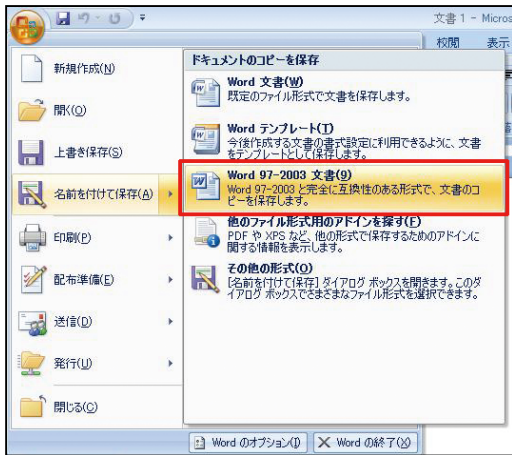
ここでは、Word での保存方法を中心に説明を行いますが、Excel、PowerPoint も同様の操作で、保存形式を変更することが可能です。



(1). Office2007 を起動し、画面左上のメニューバーのから



アイコンをクリックし、Word のオプションを表示させます。



(2). オプションが表示されたら、左に表示される一覧から「名前を付けて保存」をクリックします。

次に表示されるメニューから「word 97-2003 文章」を選択することで、旧 Office 形式での保存ができます。

2. Office 互換機能パックのインストール方法と使用方法 [Office 2000-2003]

下記ページのアドインをインストールすることによって、Office2003 以下のバージョンを利用しているユーザでも、Office2007 形式のファイルを編集、保存することが可能となります。

< Microsoft ダウンロードセンター (Microsoft office 互換機能パック) >

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=941B3470-3AE9-4AEE-8F43-C6BB74CD1466&displaylang=ja>



「ダウンロード」をクリックして互換機能のソフトをダウンロードします。

3. PDF/XPS[Office2007]

Office2007 を利用しているユーザのみに限られますが、アドインをインストールすることによって、Office 形式のファイルを PDF 形式で保存することが可能となります。

< Microsoft ダウンロードセンター (Microsoft office プログラム用 PDF/XPS 保存アドイン) >

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyId=4D951911-3E7E-4AE6-B059-A2E79ED87041&displaylang=ja>

4. PDF を閲覧するには

Adobe Reader をインストールする必要があります。無料で利用することが可能なソフトウェアです。

< Adobe Reader ダウンロードセンター >

<http://www.adobe.com/jp/products/acrobat/readstep2.html>





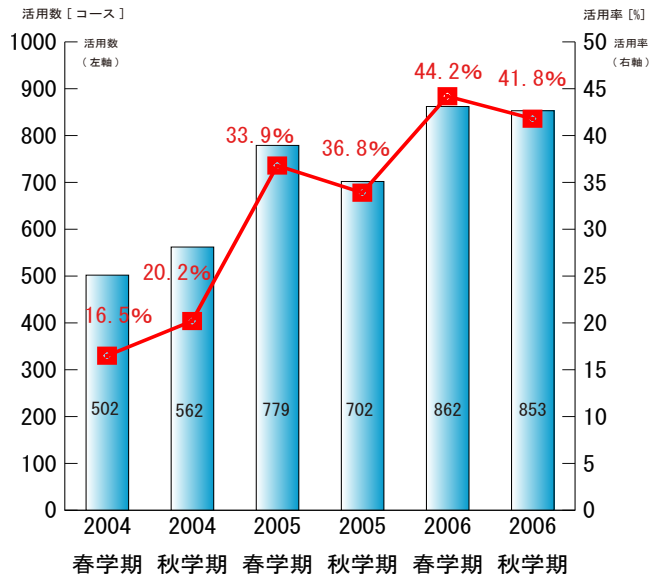
Blackboard@Tamagawa

2006 年度の結果

2006 年 度 Blackboard@Tamagawa の活用率とコース統計結果をご報告します。2006 年度春学期、秋学期を通しての活用率は 42.9% となりました。昨年度結果と比較し、確実に増加しています。

本年度、特に増加が顕著だったのは、文学部、農学部、工学部です。共通教材として、3 学部で英語の共通教材を作成し活用されています。また、工学部では、2005 年度以降大幅に活用が進んでおり、講義だけでなく、就職活動支援のためにも Bb を活用しています。

Blackboard@Tamagawa 活用推移 (大学全体)



- ①活用数：②の授業のうち、Bb を活用した授業コード数
- ②授業数：正式に登録され、開講された授業コード数
- ③活用率：授業のうち、Bb を活用している割合 (= ① ÷ ② × 100)

学部	2004 春		2004 秋		2005 春		2005 秋		2006 春		2006 秋	
	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率
文学部	116	21.9%	108	26.7%	198	45.9%	183	39.3%	225	55.7%	201	49.1%
農学部	11	5.0%	9	5.0%	39	19.4%	36	18.5%	67	29.1%	73	33.5%
工学部	23	6.9%	25	9.8%	78	27.2%	77	28.1%	138	44.4%	123	39.8%
経営学部	241	88.3%	240	98.1%	224	100.0%	225	99.2%	209	99.1%	217	97.0%
教育学部	28	7.9%	31	14.5%	45	17.0%	48	18.4%	65	25.1%	49	19.2%
芸術学部	20	2.5%	15	4.4%	48	24.0%	31	11.8%	63	27.0%	45	25.4%
コア科目教職関連科目	19	10.2%	21	11.9%	49	25.6%	49	23.8%	67	32.7%	77	32.4%
総計	462		453		711		669		858		785	

- (注) ①コース数：教室での対面授業を 1 コースとして、授業コード区分別 (各学部、コア / 教職共通科目) に集計。
- ②活用率：各学部開講授業コードを元に集計。(上図、注釈参照)
- ③コース数と活用率の違い：コース数は、Blackboard@Tamagawa 利用対面授業数を把握する目的で集計。
活用率は、全授業中の活用の割合を把握するため、授業コードを元に集計

編集後記

Blackboard@Tamagawa は、2006 年 4 月にポータル機能を搭載しました。2007 年 4 月よりは、ポータル機能がバージョンアップします、期末終了アンケートの結果からもポータル機能は学生に受け入れられ、「便利である」という意見が多くなっています。今後とも、便利になる Blackboard@Tamagawa をご活用ください。

e-Education NewsLetter 2007 Vol.1

2007 年 4 月発行

玉川大学

e エデュケーションセンター メディア教育推進室

東京都町田市玉川学園 6-1-1

Tel : 042-739-8820

Fax : 042-739-8825

e メール : bbhelp@tamagawa.ac.jp